



ぶらたなす 学校通信

令和7年
1月20日
河北町立
谷地中部小学校

キーワード 「前に踏み出す力」「チーム力」「考え抜く力」

新年 あけましておめでとうございます

1月8日の始業式で、子どもたちに「復活」「新生」「平和」という巳年の特徴と、今年の願いとしてただ一つ「楽しい1年を過ごせるように」ということを話しました。楽しく過ごすためにはどうしたらいいかは、自分でそしてみんなで考えてほしいと付け加えました。健康や安全、そして相手を思いやることや前に踏み出す向上心など、様々ある中で、自分で考え自分で経験し、実感した楽しさと幸福感を、みんなで共有できる1年にしてほしいと思います。

与える (give) 教育よりもつかませる (catch) 教育は尊い

冬の高校サッカーの選手権や大学ラグビーでは、ピッチ上で自分たちで考え、個人技を交え、楽しくプレーして勝ち進むチームが多くありました。箱根駅伝では、相手のペースに惑わされず自分でレースプランを考えて走る選手、選ばれなかった仲間から給水をもったり心からの笑顔でタスキをつないだりする選手の姿がありました。そういった選手の個性や主体性・協働性を認め支えるチームが増えてきたことにも、令和の日本型学校教育の神髄を見た気がします。中部小でも「みんなが学びや活動を楽しみ、自分らしく、のびのびと学校生活を過ごせること」を今年度最後までやり切っていきたいと思います。保護者・地域の皆様からのご協力と温かい励ましの声に心より感謝申し上げます。

今年も、どうぞよろしくお願いいたします。

「一歩踏み出す力 (主体性)」



新春 書初め大会

一気持ちを新たに、新年の第一歩一

1月9日、書初め大会が開催されました。1・2年生は硬筆、3～6年生は毛筆。2学期そして、冬休みにも練習してこの日を迎えました。書道は日本の伝統。黙祷をして精神を集中してスタート。

一人一人が心を整え、字を整え、思いを筆に集中させて、真剣に取り組んでいました。



【6年生・将来の夢】

【5年生・新しい風】



【4年生・明るい心】



【3年生・友だち】



【2年生・楽しいお正月】



【1年生・お日さま】

「チーム力（協働・対話）」



「地域の伝統行事～地域学校協働活動」

1月15日、1年生の生活科で、小正月行事のだんご木飾りが行われました。豊作や家内安全、無病息災などを祈る地域の伝統行事。小さな手のひらでだんごをていねいに練り、ゆであがっただんごと短冊に思いや願いを込めて、木に差し込んでいました。地域の伝統行事を通して、郷土を愛することへも繋がりますように。



1月3週にわたり、地域ボランティアの茂木宏之さん、青山美紀夫さん、海野文雄さん、真木秀昭さんより、5年生の図工で糸のこぎりを使った制作活動にお手伝いいただきました。特殊な器具の使い方に慣れ、技術の向上が見られ、地域とともに子どもを育てるとてもよい機会となりました。



「考え抜く力（解決・創造）」

個別最適な学び（総括）

遊びから学びへ



「遊びは学び 学びは遊び “やってみたいが学びの芽”」
文科省からでている言葉です。これは、幼児教育・自由保育からのつながりとしてだけでなく、学びを自分でつかみ、自分ごととして身に付ける上ですべての学年に通することです。キーワードは「自己決定」「自己調整」「子どもの主導権の保障」。朝の遊びや自由活動が登校の動機づけとなり、個人推し活で学びに向かう力を養い、学習課題を自分ごととして解決する教科の学習にも繋がってきています。もちろん、そこには先生が一方向的に教えるのではなく、教材を分析して基礎基本も含めて考えを交流させ、確かな力を自ら身に付けられるようにする今の学習指導要領に沿った環境や支援があります。

個人推し活（総合探究学習）

2学期までに4～6年で取り組んだ、自分で課題を見つけ探究する学び「個人推し活」では、学びに向かう力がとてもよく表れ、それぞれの知識やスキルの向上につながりました。3学期は、今年度初めて3年生がTRYしています。学校教育目標の「チャレンジ&シンキング」困難な場面や問題にぶつかっても、自分たちで解決することをねらって行ってきた結果として、すべての学年で学びに向かう力を通した生きる力の芽が出てきています。計画や準備において、保護者の皆さまからのご理解とご協力のおかげでもあります。心より感謝申し上げます。



ホームページもぜひご覧ください。 <https://member-yachichubu-kahoku.edumap.jp/>
今月の地域配付は1月30日頃になります。

